



東京多摩プロバスニュース

第 74 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行: 広報委員会 2017. 9. 6.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

ホームタウン多摩で楽しもう！

第 14 期 定期総会、第 157 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 7 月 5 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 27 名(会員数 29 名)

第 158 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 8 月 2 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 27 名(会員数 29 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



年度はじめに当たって

西村政晃会長

第 13 期 倉賀野会長の後を引き継ぎ、平成 29 年度(第 14 期)会長を務めさせていただきます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成 16 年 5 月に設立された当クラブは、本年度で第 14 期を迎えました。その間、豊かな経験をお持ちの多くの会員が入会され、毎年さまざまな工夫が行われ充実し、みんなでクラブライフを楽しんできました。活発な定例会、和気あいあいの研修・親睦旅行、そろばんの出前授業・日本文化伝承などの地域奉仕、ホームページ・会報での充実した広報活動です。昨年度



は総務委員会のご尽力で会則の一部改正もおこないました。

本年度のスローガンは「ホームタウン多摩で楽しもう！」です。“ホームタウン”は英語で文字通り“故郷”の意味ですが、辞書によれば生まれた所とは限らず、子供時代を過ごした所、現在住んでいる所をさすもありました。それに“多摩ニュータウン”の街でもあり、皆様のご意見をお聞きし、親しみを込めてスローガンに入れました。

私たちのホームタウン多摩は、豊かな自然が残されています。里山には落葉樹(コナラ、クヌギなど)、常緑樹(シイ、カシなど)、二次的自然の公園にも上記里山の樹種が多く植えられ、街路樹はメタセコイヤ(中国原産)、モミジバフウ(北米原産)など、帰化植物の大木が見事です。タヌキなどの哺乳類や野鳥類、蝶類などの種類も豊富です。この豊かなホームタウンで是非エンジョイいたしましょう。

最後に、話は変わりますが知見を広めるために、今年の 6 月 21 日(水)に、鎌倉プロバスクラブとの交流会と鎌倉観光を先方の絶大なるご協力と丁寧なご厚意で大変有益な交流が出来ました。今後とも、他の近県のプロバスクラブとの交流を進めていければ、我々の今後の活動に大きな新風になってゆくでしょう！



多摩センター夏祭り(多摩おはら節同好会)

◇◇◇ 第14期定期総会 ◇◇◇

第14期定期総会(平成29年度)が7月5日(水)午後1時30分より関戸公民館第2学習室で開催された。議長・書記が選出されて審議に入り、第1号議案から第7号議案まですべて異議なく承認された。第14期の新役員と活動方針の概要は下記の通り。

1. 平成29年度新理事・監査

会長	西村政晃
副会長	澤 雄二
幹事	鈴木泰弘
会計	藤 寄 喬 子
総務委員会委員長	鈴木達夫
研修・親睦委員会委員長	秋山正仁
地域奉仕委員会委員長	滝川道子
広報委員会委員長	登坂征一郎
監査	堀内陽二



新任の役員；左から藤寄会計・滝川地域奉仕委員長・堀内監査鈴木(達)総務委員長・澤副会長・西村会長・秋山研修親睦委員長登坂広報委員長・鈴木(泰)幹事 各位

2. 平成29年度基本目標と活動方針 西村政晃会長 <スローガン>「ホームタウン多摩で楽しもう！」

1) 基本目標

地域社会への奉仕に努めるとともに、定例会や研修旅行などで会員の親睦と相互啓発を図り、クラブライフを楽しむ。

2) 活動方針

① 多摩市が進める ESD(持続発展教育)への積極的な支援に努める。

- ② 他のプロバスクラブとの交流を積極的に行う。
- ③ 会員の増強と若返りに努める。
- ④ さらなる発展を期し、課題整理や目標の設定を行う。
- ⑤ クラブ創立15周年に向けて、記念事業の検討を行う。

3. 各委員会の活動方針

- 1) **総務委員会** 鈴木達夫委員長
幹事及び各委員会との連携のもとにクラブ全体の円滑な運営、計画の実行に努力する。
- 2) **研修・親睦委員会** 秋山正仁委員長
会員の自己研鑽と相互の親睦を図ることを目標として、施設等の社会見学、研修旅行、近隣プロバスとの積極的交流の活動計画を推進する。
- 3) **地域奉仕委員会** 滝川道子委員長
地域に開き、他団体と交流する中で地域に貢献、地域の人達に喜んで頂ける活動を行う。
- 4) **広報委員会** 登坂征一郎委員長
定期的に会報を発行するとともに、クラブのホームページ運営を中心に、当クラブの広報面での諸活動を行う。会員相互の交流を情報面で支援するとともに、外部に向けて当クラブの活動を積極的に発信していく。



総会・定例会後、京王クラブで恒例の懇親会を開催。東京多摩RC から会長小暮様・幹事横倉様を来賓にお迎えし、総勢24名が懇親を深めた。今回はカラオケはなく、ご来賓と会員との対話の交流を中心として盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

鈴木泰弘幹事

1) 新理事の挨拶関連

- ・8月8日(火) 東京多摩ロータリークラブに、西村会長、澤副会長が訪問し、就任挨拶をした。
- ・行政機関、他の関連団体への挨拶は訪問手渡しと送付により完了した。

2) 新年度の会員構成 (敬称略)

会員：29名 (内休会1名 瀬尾日出男) 会友：10名 (青木ひとみ、池田寛、片山満子、熊本房義、永井岩男、

永島仁、蓮池光枝、蓮池守一、松永弘、山田喜一)

3) 今年度のスケジュール確認

定例会は第一水曜日、但し2018年1月は10日、5月は9日を予定する。理事会は毎月の最終水曜日とする。

4) 全日本プロバス協議会全国常任理事会

9月26日(火) 奈良市にて行われることになり、当クラブより中村会員が常任理事として出席する予定。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

鈴木達夫委員長

◆◆◆ 幹事・委員会報告(つづき) ◆◆◆

1) 第157回定例会 7月5日(水) 関戸公民館第2学習室
第14期定期総会に引き続き新体制による平成29年年度
第1回定例会を開催。

・卓話「英文学と釣り」 滝川益男会員

関連記事P3参照

2) 第158回定例会 8月2日(水) 関戸公民館 第2学習室

・卓話「イザという時に役立つパッキング」

ワークショップルームで開催。

滝川道子会員

関連記事P4参照

3) 今後の予定

・第159回定例会 9月6日(水) 関戸公民館

・第160回定例会 10月4日(水) ザ・スクエア3F集
会室

2.2 研修・親睦委員会

秋山正仁委員長

研修と親睦をかねて、10月18日に日本の音風景100
選の「柴又帝釈天界限と矢切の渡し」や葛飾区山本亭・

寅さんの記念館・山田洋次ミュージアムの見学。昼食は
名物のうなぎ・天ぷらを予定。

2.3 地域奉仕委員会

滝川道子委員長

5月23日ひじり館(6名)、7月14日かえで館(27名)
に於いて、寺子屋出前事業「いざという時に役立つパッ
ククッキング」を開催。

パッキングの内容は、焼きそば・チキンライ
ス・ホットケーキミックスを使ったパン。

試食前の時間を利用して、卓話「江戸時代に学ぶ、災
害を乗り越える知恵」を行った。

2.4 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース第74号の編集会議を7月25日に実施。
編集計画内容を7月26日の理事会で説明し了承を得た。
8月2日の定例会で原稿執筆依頼、8月23日、29日の編
集会議を経て最終校正、校閲を実施。

2) ホームページは、ニュース第74号の内容等を反映し、9
月20日に更新公開する。

◆◆◆ 卓 話 ◆◆◆

1. 英文学と釣り

滝川益男会員

子供の頃から英語に親しみ、中学生の頃から英語に傾い
て現在も翻訳の仕事に携わっている。英語と日本語の違い
から翻訳の技巧、訳文の違いを趣味の釣りを加えて、翻訳
の観点からお話しました。



卓話では触れられませんが、英文学の翻訳に携わる中から、釣りにまつわる小話を
二題紹介します。

◆美女の釣り本

中世のイギリスに『釣魚論』(Treatise of Fishing with
an Angle) という小論があり、英文学最古の釣り本とされ
ている。著者のジュリアナ・バーナーズは貴族の娘。絶世
の美女として知られ、尼僧院の院長でもあった。この人物
はじつは男性であったとの説もあるが、デーム・ジュリア
ナ・バーナーズ(Dame Juliana Berners)の呼称から、今
のところ女性説が定説である。

なぜならデーム(Dame)とは
男性のサー(Sir)に相当する
女性の正式尊称だからである。
この『釣魚論』で、ジュリアナ・
バーナーズ女史は狩猟・鷹狩り・
魚釣り・野鳥狩りの4つを比較
して、「心楽しき遊びは、釣りに
勝るものはなし」と結論づけた。



『釣魚論』表紙絵

そして釣り竿や釣り糸、釣り鉤やウキの造り方、さらに魚
の釣り方や狙い時などこと細かに解説した。中世イギリス
で尼僧院の院長といえば、いまの女子大の学長に相当する。
学識豊かな絶世の美女が釣りに凝ってしまい、やがてイ
ギリス最古の釣り本を出してしまった!

なんともロマンあふれる話ではありませんか。

◆失樂園のマス

その昔、ヤハウエ神は、エデンの園の中央に2本の樹を
植えた。「善悪の知識の樹」と「生命の樹」である(『創
世記』Genesis 第2章8)。イブが禁断の木の実を食べた
のは「善悪の知識の樹」のほう。もう一本の「生命の樹」
に関しては、西暦1667年、盲目の詩人ジョン・ミルトン
がこう描き出している——かつてエデンの園の麓でチグ
リス川が地下を穿って深淵をつくり、その支流の一つが泉
となって樂園の『生命の樹』の傍らに滾々と湧き出していた
(『失樂園』Paradise Lost 第9巻70)。

その泉に目を付けたアメリカ人釣り師がいた。ジェーム
ズ・プロセック氏。彼は考えた——その泉にはマスの祖先
が棲んでいて、人類の樂園追放を目撃したはずだ。その末
裔はいまも生き残っているに違いない。そんな稀代のマス
が釣れたらどんなに嬉しいか——こう考えたプロセック
氏は、実際にチグリス川の源流(現トルコ)を訪れてマス
釣りを試みた。だがしかし、いまのチグリス川源流はエデ
ンの園のイメージからほど遠く、夏草生い茂る川原は一面
牛糞(cow dung)だらけ。さらに、チグリス川に沿ってク
ルド人がゲリラ戦を展開中でまったく釣りにならず、かの
稀代マスの末裔に出会う機会もなかったという。

2. イザという時に役立つパッククッキング

滝川道子会員

半透明の高密度ポリエチレン製の袋に材料を入れ、袋を閉じて袋ごと30分前後ボイルするだけで災害時にも温かい料理が食べられる。

地域奉仕委員会では出前講座の一環として沢山の人々に覚えて頂きたいと活動を始めました。

料理はチキンライス・蒸し焼きそば・コーヒー味の蒸しパンの三種です。

ワイワイおしゃべりをしながら、慣れない手つきで、しかし真剣に取り組んでいらっしゃる皆さんを見ているのは本当に楽しいひと時です。一方、ボイルしている時間を利用して試食するまでの間約20分で「江戸時代に学ぶ災害を乗り越える知恵」と題した講話を実施しております。



「美味しかった!」「家でも作ってみます」「お祭りの屋台でやってみます」等々の感想をいただき、今までに3度の普及活動を行い、どの



パッククッキングの後、試食を楽しむ

会場でも好評を博しております。(写真上はその一コマ)

- ・5月23日(火)ひじり館 6名 地元の方々
- ・7月14日(金)かえで館 14名 ほほえみサロン
- ・8月2日(水)関戸公民館 27名 多摩プロバスクラブ

3. 多摩市の湧水

高村弘毅会員

多摩市には大栗川と乞田川の二つの川が多摩川に流出している。これらの支流河川は地質の制約を受けながら更に小さな支流が両河川に合流する。これらには谷頭湧水や側壁湧水が存在する。多摩市の集落は、基本的には多摩川沿いを除くと、殆どがこれらの湧水に帰属するような形態で分布している。谷頭に分布する集落をはじめ谷戸・日蔭・日向の名前の集落が認識されるのはそのためである。



地質は上部から、多摩ローム層を主体とするローム層、その下位の相模川系の御殿峠礫層・稲城砂層、第三紀層からなる。これらの地質構造は、多彩な湧水、農業・生活井戸の分布形態に影響している。

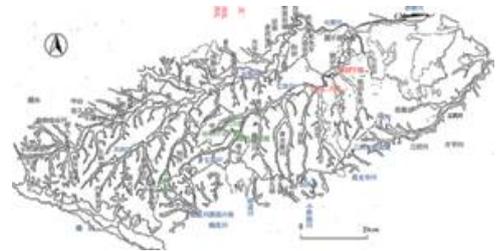
土地利用状況は、昭和40年代の多摩ニュータウン建設により8%の市街地が宅地・道路だけで65%以上に変容した。そのため雨水の浸透面積が激減し、湧水の分布も意識的に探さなければならぬほど減少した。東京都の資料に

よると存在が2カ所であるという。しかし、小生が散歩がらみで確認できたのは16カ所ありましたので、推測すると100カ所は存在しているものと思われる。その根拠は、都の資料によると大栗川・乞田川流域には130カ所あったとされる谷戸・池塘は開発で減少しているものの、乞田川で8カ所(稲城砂層厚さ:30m)、大栗川(稲城砂層の厚さ:10m)で22カ所現存していることによる。具体的には、乞田川は右岸に大谷戸・馬引沢・岩入り沢・瓜生川・貝取川・青木場川・樽原・中沢など、左岸に狼谷戸1カ所である。

一方、大栗川は右岸に堂谷戸・別所宇谷戸・柏木谷戸・南大沢・内裏谷戸・板木谷戸・大芦谷戸など、左岸に百草谷戸・新堂谷戸・倉沢・大谷戸川・塩釜谷戸・天野谷戸・谷津谷戸・寺沢・下柚子・殿ヶ谷谷戸・蔵郷・岩入り川・嫁入り谷・巖耕地・子の神谷戸などである。谷戸の多い地名は、地質の関係で支谷の側面壁の面積が多いことを示唆している。以下主な湧水(カッコ内:電気伝導度 $\mu\text{S}/\text{cm}$)中沢池(177:波及地)・長生(128:七國山)・蓮正寺池(75)・大谷戸公園水路出口(浅間山)・瓜生池・岩入りの池・柳入りの池・小山内裏公園(大田切谷戸)などが確認されているが、現在正確な数は明らかでない。昭和43年当時における大栗川及び乞田川水環境の調査結果を下図A(大きな図面を縮小)に示す。この図によると、湧水は多く存在しており、深井戸、浅井戸合わせると膨大な数になり、如何に農業・生活用水とも井戸に生活を委ねていたかが分かる。

まとめ:

昭和42年4月から3年間、実験的に大栗川流域を調査した。観測地点は河川が下流に1カ所、地下水位、降雨および湧水が3カ所である。以下要約して述べる。



1. 降雨に対する湧水・地下水位の対応は、地形的特徴の影響を受けそれぞれ異なる。
2. 段丘面上の井戸では、降雨開始と同時に水位が上昇、湧水でも湧出量が増加した。しかし、地下水位と湧水の最高は他の2カ所に比べて最も遅かった。
3. 沖積面と山腹斜面の井戸と湧水は、1月31日の23mmの降雨に対応した最高水位は翌日正午頃に現れた。
4. 地下水の河川への流量は、南斜面において最も多く、次いで西斜面が多い。北斜面からの基底流量(涵養量)は最も少ない。
5. 洪水時の流量と、平常時の流量の差(比流量)が小さいのは、河道の人工的改変によるものと考えられる。
6. 一雨に対する河川への流出率は、最大33%、最小4%であり、平均10%~25%である。

1. ヨックモックの幸せな「贈り物」 増山敏夫会員

30代半ば大学院同期の3人で独立、設計事務所を始めたのはオイルショックの最中だった。将来のネタ造りのような仕事に汗を流した。そんな折、友人の紹介で東京下町のある病院の看護婦宿舎を依頼され、ローコストながら丁寧な設計が院長に評価されたのだろう、青山に本店を建てる予定の院長の知人・ヨックモックのオーナーに設計者として推薦頂いた。

良い施主に恵まれないと、建築家の腕だけではなかなか良い建設が生まれれないと言われるが、素晴らしい施主だった。容積を低く抑え、通りのポケット空間という私たちの提案を、店のイメージに相応しいと受け入れられ、この建物に賭ける思いを語られた。楽しい仕事だった。中心になったのはS君だが、3人夫々の持ち味が出たと思う。草創期のこの仕事は図面・模型を囲み、日夜議論を重ねた。

あの彫の深い青タイルは「泉屋に負けないブルーを」というオーナーたつての願いを受け止め、原寸模型を幾つも作り、試し焼きを重ねた結果である。この建設は1978年「建設業協会賞」を受賞した。オーナーも大変喜び、私たち3人、向島でご褒美の粋な接待を受けた。楽しい思い出である。



通りの顔の一つとして人々に愛され続けたこの建物が、40年近く経ち、建築設備を含めたリフォームが施工を担当した大手建設会社により行われ、昨秋オープン。再び通りの人気スポットになっている(上図)。

「原設計のブルータイルの外壁、中庭を囲む建物のコンセプトが、地域のランドマークとして認知されるに至った建物を、解体も考えられた中、使い続けることを決め、見事な改修を行った。すべてに『幸せな建築』そのもの。長年にわたり適切に維持保全され、今後も永く維持保全される計画がある模範的な建築」として、この度「BELCA賞(ロングライフ部門)」を受賞し、オリジナルの設計者として私たちも表彰を受けた。

80歳を超え今は別々の道を歩む私たち3人。F君が代表で受けた賞牌をS君に届け、彼の住む田園調布の鮎屋で久しぶりの楽しい一献を傾けた。

中庭の花水木は故オーナーがワシントンの桜の返礼とし

て渡来した第一世代の木を探させたもの。ヨックモックのシンボルになった。

語り継ぐ焼菓子の夢花水木

三友の一献久し花菖蒲

胡桃子

2. 夏の子供茶道教室

阪東熙子会員

7月2日(日)多摩茶道連盟と関戸公民館共催で、茶室・和室共に夏らしく設え、参加者小3から中2まで全員がお茶を点てられる様、略盆点前の盆を18組揃え、菓子も可愛らしく銘朝顔の和菓子と金平糖を用意、暑い中白いソックスを持って集まる子供たちを迎えた。

初めに小西加葉子会員が「家でお茶飲む時、お母さんどうしてですか?お急須使う?」と問いかけたが、ノーリアクション。茶道教室に行かせる親御さんだが、ペットボトルのお茶ですませているのか……と嘆かわしい。「あんこが食べづらい」「塩っぱく無く甘かった」と和菓子の食感の表現が妙だ。日頃口にしないのだろう。中1になると「先に甘いのを食べたから、抹茶が美味しかった」との感想。

そんな中に、表千家の末広を持った男子がおり、私が列の先頭に呼んで正客の所作を説明したところ、合点が早く頼もしく思っていたが、後で大澤会員のお孫さんと和田中1年茶道部の部員と知った。また、7月30日(日)の文団連(理事長:堀内陽二会員)主催の夏祭り体験の茶室にも、一人で行って来たとおじいさまに報告あったという。感受性の豊かな時期に多くの出会いを持たせることが親の務めの一つと思う。

たった2時間の教室体験が投石となり、各家庭に、大きくは日本の風習として受け継がれることを切に願った一日でした。

[ワールドキャンパス多摩2017]の後援 大澤亘会員

熊本市に本拠を置くNPO法人WORLD CAMPUS Internationalの企画に賛同して、今年もヨーロッパとアメリカ8カ国から日本に関心を持つ若者が日本各地を巡回しながら8月6日に多摩市に到着した。

彼らは12日まで7日間多摩市に滞在し、多摩市民の自宅にホームステイしながら市民や大学生たちとの交流をはかった。

当クラブは今年も後援団体として参加した。これまで2年間続けた研修生への「多摩プロパスかるた」を使ったかるた取りは中止となったが、拡大版「多摩プロパスかるた」の絵札・読み札と解説文(英訳文を含む)のパネルがワールドキャンパス多摩(WCT)事務局と唐木田菖蒲館文化部により、昨年同様、永山公民館3階ロビーに、約1カ月にわたって展示された。



WCTのパンフレット

◇◇◇埼玉浮き城プロバスクラブの紹介◇◇◇

近隣プロバスクラブとの交流会をはじめ、卓話やゴルフ、囲碁、俳句などの交流がなされるようになってきましたが、相互のクラブの活動に関心もたれるようになってきました。今号より相互の関心を深めるべく近隣プロバスクラブのプロフィールを、まずは簡略ながら、埼玉浮き城プロバスクラブから紹介させていただきます。

埼玉浮き城プロバスクラブは、2011年6月17日に創立、行田ロータリークラブの支援により生まれたクラブです。地域の小・中・高校生を対象に会員の豊富な社会経験を活かし出前教室など地域に根差した奉仕活動を行っています。会員数は34名で、月1回の例会や移動例会を実施。俳句同好会、ゴルフ部会、端唄・俗曲同好会、郷土史研究会などにより親睦・交流を深めています。

- *会長；小島敏男氏、副会長；大久保毅氏、幹事；鈴木民儀氏、
- *例会；毎月第3金曜日（通常例会、移動例会）
（会場；ベルヴィアイトピア 行田市持田2792-1）
- *事務局；〒348-0041 埼玉県羽生市上新郷5642-2
TEL&FAX；048-562-5556

- *例会のプログラム
 - ・国歌斉唱・プロバスソング斉唱(プロバス賛歌)
 - ・会長挨拶・お客様紹介 会長
 - ・幹事報告 幹事
 - ・委員会報告・同好会報告
 - ・バースディ報告と会員スピーチ
 - ・卓話・講演
 - ・ハッピーボックス披露 例会委員
 - ・閉会 例会委員長
- *会報；毎月発行
（内容；例会、幹事報告、会長スピーチ、ハッピーボックス発表、講演やイベントの紹介等）
- *ホームページ；<http://ukisiro.explog.jp/>

◇◇◇ プロバス交流句会 ◇◇◇

俳句交流会

増山敏夫会員

8月9日、八王子プロバスクラブと多摩プロバスクラブの初めての俳句交流会、高尾山吟行が八王子俳句サークルの肝いりで行われた。朝10時清滝駅に集合、ケーブルで登り、高尾山薬王院まで句材拾いの吟行。

薬王院広間には多摩6名、八王子9名の記名札が用意され両クラブ対面のかたちで着席、ホストの八王子より河合和郎（夢幻）宗匠が句会の要領説明をされた後、薬草園にルーツを持つ当山の料理の説明が住職よりあり、精進料理を頂く。具沢山の料理には少々の御酒も付く。これも立派な句材……会食後、夫々3句投句。選句は7句。披露は八王子田中氏、点盛は各自記録により点数を発表。上位は八王子が独占。河合和郎宗匠の講評ののち、八王子PC幹事より締め挨拶があり閉会となった。

会食の歓談の折、私の前に座られた長老格の渋谷皆空氏が、会員の俳人・河合夢幻氏を口説き俳句サークルを作っ

た事、例会は度々吟行を兼ねて行っている事、月一度の例会が議論百出で楽しくてしょうがない事を語られ、また世話役の飯田ふみこ氏も同様の事を話されたのが印象深い。

サークルの会員数は句句会とほぼ同じ、年に一度自選句集「夕やけ」を発行、昨年度が第4集になる。なかなかの力作ぞろいである。今回の吟行、何よりも俳句を楽しむ姿勢に感心しました。また良い刺激にもなりました。八王子PC俳句サークルの皆さんに感謝です。

当日の句句会参加者の句

- | | |
|----------------|-------|
| 蝉しぐれ眠気をさそう般若湯 | 岡野 流馬 |
| 十善戒の心に浸みる夏高尾 | 北村 岳人 |
| 炎天下からす天狗の指の反り | 倉賀野志水 |
| 納涼へハイキング数日本一 | 鈴木 透水 |
| 炎天や風運び来るせせらぎの音 | 登坂 爽風 |
| 木洩日や行者の滝の二丈ほど | 増山胡桃子 |

◇◇◇ わが故郷 ◇◇◇

わが故郷

山田正司会員

この暑い夏の時節に「わが故郷」記を書こうとすると、子供の頃に駆けめぐった懐かしい野山の風景と共に、あの戦争そして敗戦の苦々しい思いもまた同時に蘇ってしまう。

私の故郷は愛知県豊川市牧野町である。旧三河の国牧野村の時代から山田姓を名乗る一団(10軒余)の古い家系の四男として生まれた。母は同じ市内国府町の出身で、その名の如く旧三河の国府があった東海道(1号線)沿いの町家育ちで、私は生粋の三河っ子と云うことになる。



丁度、今放映中のNHK大河ドラマ「女城主直虎」の舞台である遠江は三河の隣国であり、かつ井伊谷と牧野村は国境を介して極めて近い位置にある。共に戦国時代には今川、武田、徳川の勢力に翻弄された歴史があり、ドラマに出てくる情景や方言、物語の展開は大変身近かで興味深い。

後に井伊家は彦根城主となり幕末には強権大老としても有名だが、わが牧野公も江戸時代になって越後長岡7万石を拝領し、近年に至るまで長く地元で慕われていた大名とのことで大変喜ばしい。

牧野町は地理学的にも特別な立地にある。日本列島を縦断する大地溝帯(岡谷より延びる列島プレートの境界線)の真っ只中にあり、JR飯田線沿いであって豊川の清流が流

◇◇◇ わが故郷(つづき) ◇◇◇

れ、冬の晴れた日には約100kmも離れた赤石山脈の白い雪山が、北方向に続く谷筋に美しく凜とした姿で望まれる。

先の戦時中には豊川市の広い台地に海軍工廠があり、米軍の大空襲により壊滅的破壊を被った。近くでその悲惨な光景を目にして戦争の残虐さも身をもって体験した。

古い農村の四男坊に生まれた私には、当時故郷にとどまる場所は無いと考えた。戦前ではあるが、母方の兄弟姉妹は皆義兄の支援で遠く広島で教育を受けていた。幼い頃より私には広島は憧れの都会であった。原爆投下から10年を経て一変した新しい広島で、私は建築を学びサッカー

を楽しみ青春を謳歌した。美しい街、明るい人々・良き師・友にも恵まれて、広島は私の「第二の故郷」となった。

昨年はオバマ前米大統領が初めて原爆資料館を訪れ、今年になって核兵器禁止条約が国連で採択された。広島街がそして人々が不断の努力で平和の尊さを、世界に発信し続けた大きな成果と考えられる。

おわりに、2つの故郷をベースにして私は今を生きている。この多摩ニュータウンが「第三の故郷」となって、世界に誇れる街になってほしいとこれからも願い続ける。

◇◇◇ パースディ・プレゼントの紹介 ◇◇◇

誕生祝の扇子の紹介

澤雄二会員

今年度、誕生月にお祝いとして贈られる「伊場仙」の扇子。扇子は平安時代に日本で考案され、高貴な人々のアクセサリーとして使われ、江戸の頃からは庶民にも広まった。

伊場仙は徳川家康と共に江戸にのぼった浜松商人、伊場屋勘左衛門によって1590年創業。創業当時より江戸幕府の御用を承り、主に和紙、竹製品などを扱っていたが、江戸後期よりうちわ浮世絵を扱い始め、初代豊国、国芳、広

重などの版元として「伊場屋」の名を江戸市中に広めた。

現在その当時の「伊場仙版」の絵は国内の美術館はもとより大英博物館、ボストン美術館、メトロポリタン美術館等海外の著名美術館でも見ることができる。

「伊場仙」の扇子は厳選された竹と紙を使用し、一本一本手作りで仕上げられており、絵柄は夫々異なる。



◇◇◇ 西安～敦煌への旅(1) ◇◇◇

青年時代からの憧れの地

文明交流の歴史舞台に立って 澤雄二会員

西安の兵馬俑と敦煌の莫高窟、それは私にとって若き頃からの憧れの地であった。シルクロードの虹の道を通って、いつか文明交流の歴史舞台に立って見たいと願っていた。チャンスがやって来た！参議院協会(元参議院議員の会、役員をしている)の視察にかの地の地名があった。勇躍参加した。

早朝の便のため羽田のホテルに前泊した。窓一面にパノラマのように広がる空港の夜景に改めて感動した。もう一つ、朝は4時前から深更まで多くの旅客機が離発着していた。滑走路の増設と、国際便の認可による羽田の活況を実感した。北京到着後は我々の受け入れ側である「国家発展改革委員会」の首脳たちとの会議、日本大使館への表敬、夜の歓迎宴と、慌ただしい一日が過ぎた。

翌日、秦の始皇帝陵のある西安へ……と思つたらとんでもないトラブルに見舞われた。昨夜の激しい雷雨で北京空港は大混乱、5時間も足止めされた。西安はシルクロードの起点であり、古代中国王朝の都となった長安であり、多くの歴史的遺産が残っている。西安の古城壁と、中国最大級の鐘楼、大慈恩寺の大雁塔を見学した。



城壁は長安城を基礎に築かれ、周囲の長さは14kmに及ぶ。安定門は最大の城門で、ここから人々はシルクロードを目指して出立した。鐘楼は市街の中心地に立ち、戦時には物見台や司令部など重要な役割を果たした。高さは36mで北京と並ぶ最大級のもので、ライトアップされた壮麗さに目を見張った。

大雁塔は大慈恩寺の院内に立つ7層の64mの雄渾な美しさを持つ塔である。僧の玄奘(三蔵法師)が国禁を犯して密かに出国、インドに渡り、16年間に亘り657部の経典を長安に持ち帰った。唐の太宗は玄奘の翻訳を国家事業として支援し、集めた仏典を納めるためにこの大雁塔を建立した。

天山南路、天山北路を経てインドに渡り仏典結集の苦難、それにこの大慈恩寺に学んだ日本からの遣隋使、遣唐使達の日々にしばし思いを馳せた。現在の西安は、目覚ましい経済発展を遂げ、高層マンションが林立していた。しかし、生活感がなく居住者のいないマンションも少なからず見受けられ“バブル”を感じさせる中国の今も目撃した。

さあ、明日はいよいよ兵馬俑だ、そして敦煌へ、青春時代の夢への旅が始まる。



写真左：ライトアップされた中国最大級の鐘楼

写真右：西安の大雁塔の前で

◇◇◇ 私のシャッターチャンス(1) ◇◇◇

奥能登千枚田の幻想風景

平田哲郎会員

これは、北陸新幹線が金沢まで延伸された機会に、念願の奥能登一周ドライブを企画した中で出会った幻想的な一コマである。奥能登は平成 23 年に“のとの里山・里海”として世界農業遺産に認定され、また、平成 26 年にはNHKの朝ドラ“まれ”の舞台に取り上げられる等その鄙びた素朴さが興味を集めている。小生も予てから輪島市郊外の“白米(シロヨネ)”千枚田の規模と景観にひかれ2度ばかり撮影に訪れたことがある。

今回は 11 月下旬でもあり写材としては全く期待せず立ち寄ったところ、その日夕刻から“畔の煌めき”と題して約 12,000 坪の棚田全域でイルミネーション・イベントを催すとのこ

とで驚いて日の暮れるのを待った次第。

その日本海になだれ込むような大きな斜面に敷き詰められた小さな棚田 1,004 枚の畔に 21,000 個のソーラー LED を敷き、イエローとピンクに 30 分交代で点灯すること、夢中でこの幻想的なスペクタクルを撮りまくったが、紙質の関係でクリアな描写が難しいのが誠に残念である。



◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

1. 7 月誕生日を迎えられました！



左から鈴木泰弘会員・西村政晃会員・滝川道子会員

2. 8 月誕生日を迎えられました！



左から上田清会員・阪東照子会員・高村弘毅会員

3. 阪東照子会員の卒寿のお祝い！



◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

○今年 8 月、太平洋戦争終戦 72 年を迎えた。8 月になると新聞・テレビ・雑誌などの報道であの忌まわしい戦時の事実が伝えられている。日本人の 400 万人近い人達が戦争で命を失い、日本の産業はことごとく破壊された。

戦後 70 年以上を経て日本人は新たな国造りを行い、経済大国として世界から評価されるに至っているが、何年たってもあの悲惨な戦争を後世に語り継いでゆくこと、もう 2 度とあのような戦争は起こしてはならない、争いのない平和な世界・日本を目指してゆくのは日本人としての使命であると思う。

○西村新会長の挨拶文の中で「ホームタウン多摩を楽しもう！」という新年度テーマを掲げている。まさに今住んでいる多摩が故郷であり、これをさらに豊かにして住民が楽しい暮らしができるように、当クラブとして力を注いでゆこうと言われているのだと思った。

○高村氏の「多摩市の湧水」では湧水豊かな多摩の状況を知ることができ、滝川(道)氏や阪東氏による課外活動などや卓話・紀行文・投稿など豊かな内容の執筆に、当クラブの多彩な人材の素晴らしい力を感じます。

○今後も、より多くの会員の投稿を大いに期待したいと思います。

(広報委員 中村昭夫記)